

地域学校協働本部だより

第9号 大玉村地域学校協働本部（農村環境改善センター内）
令和3年3月16日（火）発行 大玉村玉井字西庵183 TEL 0243-48-3139

令和2年度 コミュニティ復興支援事業（文科省委託事業） 福島県地域学校協働活動事業推進フォーラムから

令和3年1月28日（木）郡山市中央公民館に於いて、「令和2年度福島県地域学校協働活動の事業推進フォーラム」が開催されました。今回は県内各地と会場をZoomで結ぶオンラインでの開催となり、会場には、実践発表団体、講演者、県教育委員会のみでの参加となりました。代表3自治体（会津若松市、大玉村、石川町）の実践発表、元文科省地域学校協働活動推進室連携支援係長で現檜葉町立檜葉南小学校教諭の猿渡智衛先生の講演等が行われました。



1 地域学校協働活動の実践発表

テーマ 『地域と学校の連携協働の充実に向けて』

- (1) 「～連携協働による地域づくり 東公民館の取組～」 会津若松市立東公民館
- (2) 「～地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの取組～」
大玉村教育委員会 生涯学習課社会教育係長 田辺 将裕
玉井小学校地域連携担当教職員 尾形 陽介
- (3) 「～放課後子ども教室の取組を通して～」 石川町放課後子ども教室

2 講演「地域学校協働活動によるコミュニティ再生」

「地域学校協働活動によるコミュニティ再生」 檜葉町立檜葉南小学校教諭 猿渡 智衛 氏

大玉村地域学校協働本部は、コロナ禍の中、これまでのモデル地区の研究実践経験を生かして今できることは何かを探求しながら、この1年間取り組んできました。難しい時期はまだまだ続くと思われませんが、今後もコミュニティ・スクールと一体となって進めてまいりますので、地域の皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。 協働本部一同

土曜日、長期休業中の学習支援活動

共に学ぶ『おおたま未来塾』

本年度の「共に学ぶ『おおたま未来塾』」は、7回と少ない回数での開催ではありましたが、無事終了することができました。ご指導をいただきました福島大学等の学習サポーターの皆様始め、保護者の皆様、中学校の先生方などたくさんの方々のご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。



- 新型コロナウイルス感染防止の徹底を図るため、消毒を徹底し、学習班を2班に編成して密にならないよう工夫しました。
- 毎回7名前後の講師と約87%（36名前後）の生徒が参加し、充実した学習会が開催され、国語・数学・英語の3年間の復習を終了することができました。
- 参加者のアンケートの結果から、9割以上の生徒が「参加してよかった」「講師の指導がとてもよかった」「授業内容がよく分かった」など好評で、効果的に事業を展開することができました。次年度もコロナ禍の中の実施になりますので、感染防止対策をしっかりと行い、生徒の実態、ニーズに応じた充実した事業を実施してまいります。

学校支援活動

◎ 今年度実績：ボランティア登録数110名
活動要請件数57件、活動延べ人数357名
令和3年3月8日現在

3学期も学校支援ボランティアの皆さんはコロナ感染予防対策をとりながら、幼稚園、小・中学校の様々な活動に参加していただきました。皆様には、この一年間学校支援活動にご理解とご協力をいただき本当にありがとうございました。次年度もよろしくお願いいたします。

園行事支援活動

今年の節分は2月2日（火）でした。（これは124年ぶりのこと）幼稚園では「豆まき」が盛大に行われました。大きな赤鬼、青鬼の登場に園児たちは、大盛り上がりで元気に豆をまいていました。（きつというんな鬼（厄）を祓うことができたんでしょうね！）



オニにもコロナにも負けなぞ～！

読み聞かせ活動



小学校では、4月から年間を通して朝の読み聞かせを行っています。子どもたちは、「今日は誰が来て、どんな本を読んでもくれるのかな。」と、とても楽しみにしています。（左の写真は、玉井小学校での朝の読み聞かせの様子です。）



米粉を使っただんご作りに興味津々！

学習支援活動

2月20日（土）から2月28日（日）まで、YouTubeを使っての「おおたまコミュニティ広場」の配信がされました。その中で、大玉中学校1年生と大山小学校6年生は、大玉特産の美味しいお米を使った新しいレシピを開発したいという提案をしていました。（名付けて「米米 Nice Rice<マイ・マイ・ナイス・・イス>プロジェクト」*詳しくは「コミュニティ・スクール便り No.27」をご覧ください。）

早速、3月4日（木）大玉村改善センターで、大山小学校6年生が村づくり株式会社の協力のもと、米粉を使った「だんご」を作りました。今後、販売も計画されているということです。

企業面接体験



面接体験の様子

大玉中では、昨年の12月21日（月）、8人の職業人にゲストティーチャーとして来ていただき、2年生に対して仕事の内容や現状と課題、仕事に対する思い、求めている人材等の話をさせていただきました。講話後、生徒たちは、自分の個性や職業の適性等を考え、なりたいたい職業を決め、エントリーシートを作成しました。この学習を通して、職業に対する理解を深め、職業人に必要な資質等を学ぶことができました。



講話の様子

2月16日（火）には「面接体験」を行いました。ゲストティーチャーの皆様を再びお招きし、面接官として一人一人の将来の夢や自己PRを聴いて指導していただきました。子どもたちは、希望する職種をもとに16班に分かれ、各班2回ずつ面接を行いました。事前に面接練習をしていたとはいえ、少し緊張した面持ちで臨んでいました。

放課後子ども教室

楽しみにしていた3学期の放課後子ども教室は、第3波と言われるコロナ感染拡大の影響により、わずか3回の開催になってしまいました。このような状況でも、公民館に集まってくる子どもたちの元気なあいさつと笑顔は、私たちの残念な思いを忘れさせてくれました。この一年、ボランティアの皆様には、大山教室月曜開催に伴い、シフトに入る日数の増加にも関わらず、ご協力をいただきありがとうございました。保護者の皆様にも「保護者ボランティア」として活動のお手伝いをさせていただくなど、大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。

大山教室

玉井教室

プラ板でキーホルダー作り



木工作品作り



お手玉作り



プラ板でキーホルダー作り



感謝の会

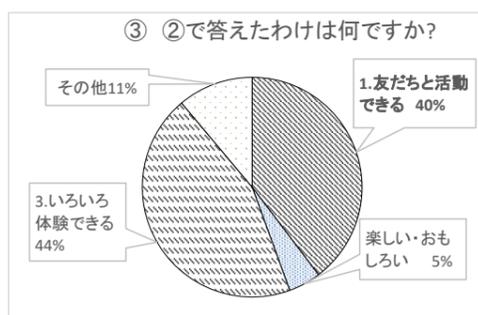
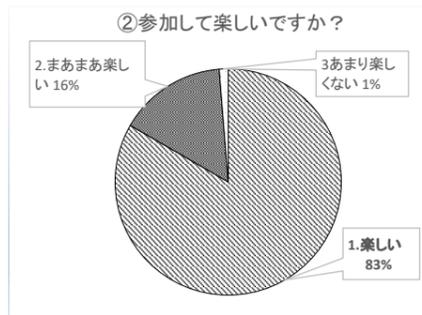


令和2年度「地域学校協働本部事業」アンケート集計結果より

【放課後子ども教室】

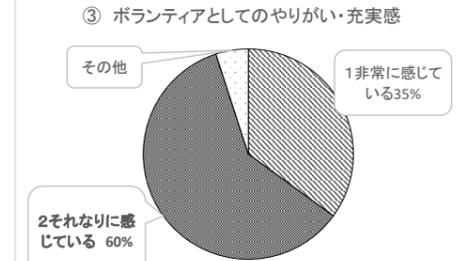
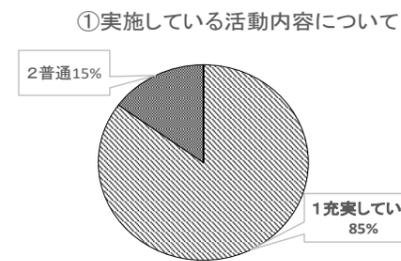
(令和2年12月実施)

児童



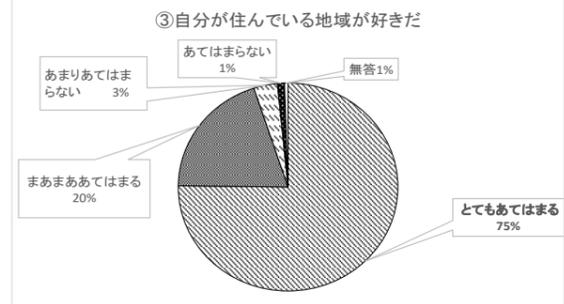
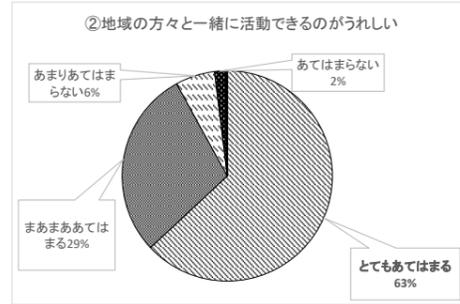
＜考察＞ ○友達と協力して活動しており、同学年や異学年児童とも楽しく交流しています。また、毎回様々な活動を行うことを楽しみに参加しており、活動意欲も高くなっています。

放課後子ども教室ボランティア



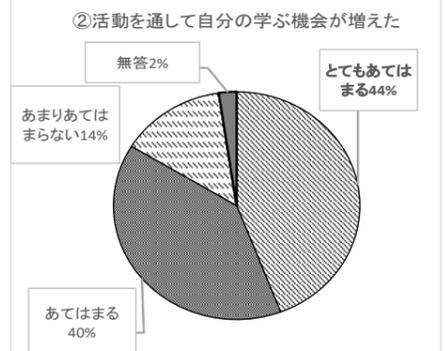
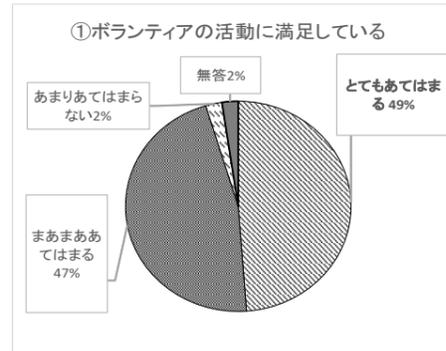
＜考察＞ ○ボランティアの参加意欲、実施後の満足度の高さが表れています。少しでも多く児童と関わり、活動を充実させようと毎回努力してくださっています。

【連携・協働活動】児童・生徒



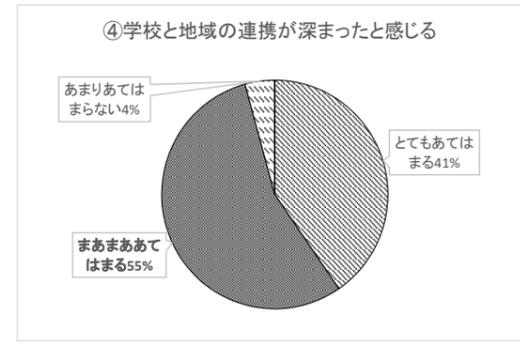
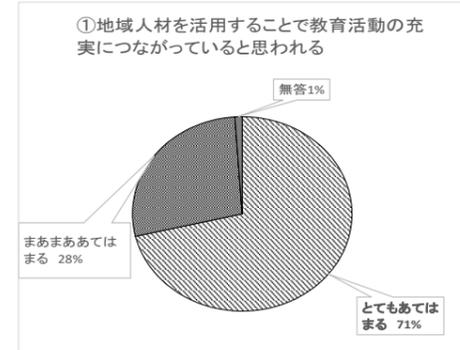
＜考察＞ ○コロナ禍により例年のような活動はできませんでしたが、約90%の児童・生徒が地域住民等との交流に喜びを感じています。地域の方々にお世話になった伝統民俗芸能伝承活動や学校行事(学習発表会、運動会)等が子どもたちの心の中に大きく残っており、郷土愛をもつ児童生徒が増えています。

学校支援ボランティア



＜考察＞ ○様々な制限があった中、ボランティアの皆さんが積極的に参加してくださいました。学校や幼稚園の大変さについても理解して下さっており、少しでも児童生徒や教職員の手助けになろうと努力いただいています。

教職員



＜考察＞ ○学校支援CNが週1日各校を訪問し様々な相談に乗ることにより、各校の授業や活動がより充実したという意見が多く寄せられました。効果的でしたので今後も継続します。